

景観形成基準チェックリスト（工作物・開発行為）

市街地景観ゾーン

記入者	
行為の場所	さくら市

(市記入欄)

項目	景観形成基準	チェック欄	具体的な取組み又は工夫の内容	適否
さく、塀、垣、擁壁等	●高い構造とならないよう配慮するとともに、生垣、石積み、木材等の自然素材を使用するよう努める。困難な場合は、これに準ずる工夫を行う。	<input type="checkbox"/>		
	●まちなみの連続性に配慮し、周辺建築物と調和するよう配慮する。	<input type="checkbox"/>		
煙突、記念塔、高架水槽、広告塔等	●良好な眺望景観を損なわないよう配置に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●工作物の形態意匠、色彩、緑化等については、建築物に準じて周辺の景観と調和したものとなるよう工夫する。	<input type="checkbox"/>		
電線路又は空中線の支持物	●形態意匠はシンプルなものとする。	<input type="checkbox"/>		
	●色彩は周辺の景観に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●共架に努め、数が少なくなるよう工夫する。	<input type="checkbox"/>		
観覧車、プラント施設、貯蔵施設、処理施設等	●良好な眺望景観を損なわないよう配置に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●工作物の形態意匠、色彩、緑化等については、建築物に準じて周辺の景観と調和したものとなるよう工夫する。	<input type="checkbox"/>		
再生可能エネルギー関連施設	●良好な眺望景観を損なわないよう、できるだけ設置を控える。設置する場合は、目立たない位置に設置するとともに、周囲を緑化による遮蔽、目立たない色彩や反射の少ない素材を採用する等景観に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
開発行為	●土地の形質の変更は必要最小限に抑えるとともに、大きな法面や擁壁等を生じないよう努める。	<input type="checkbox"/>		
	●法面を必要とする場合は、緩やかな勾配とし、地域の風土にあった樹木等により緑化に努める。	<input type="checkbox"/>		
	●擁壁は、周辺の景観に調和するよう、修景の工夫に努める。	<input type="checkbox"/>		

※適否欄は記入不要です。